

G 空間情報の流通・利活用のための 「九州地理空間情報ポータル」

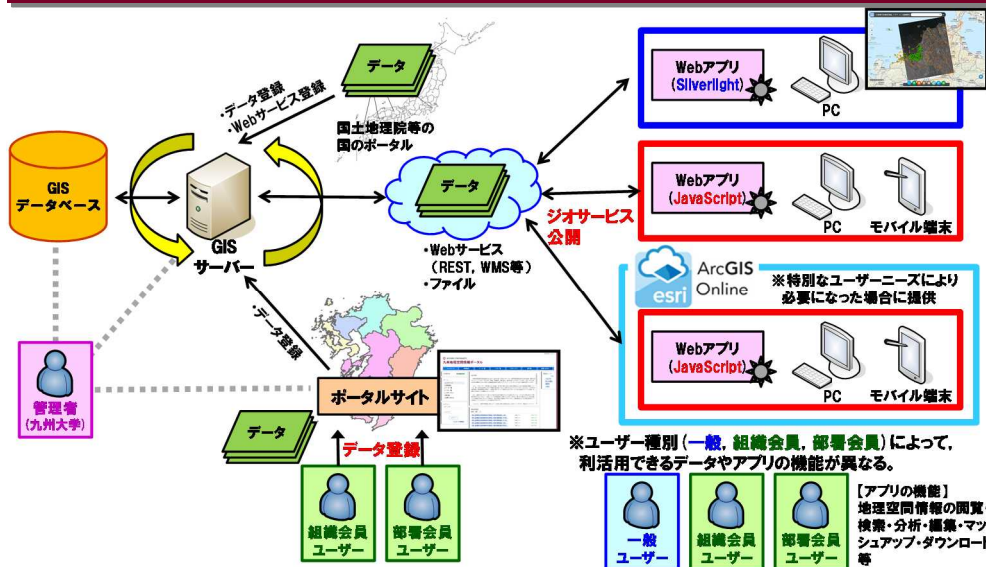
九州大学 地図環境研究室
(代表：岡島 裕樹)

キーワード G 空間情報, 流通, 利活用, サービス, 実証実験

概要

近年、オープンデータ化により、行政の透明性・信頼性の向上、国民参加・官民協働の推進、経済の活性化・行政の効率化が三位一体で進むことが期待されている。また、地理空間情報活用推進基本法に基づく第 2 期の「地理空間情報活用推進基本計画」から、国や地方公共団体等、多様な主体によって整備された地理空間情報を相互利用できる仕組みの構築が求められてきた。国土地理院九州地方測量部主催「地理空間情報活用推進に関する九州地区産学官連携協議会」の議論でも同様な認識となり、具体的な形として「九州地理空間情報ポータル※1」を構築し、平成 26 年度より福岡県等の協力を得て実証実験を開始している。 ※1 <https://geoportal.doc.kyushu-u.ac.jp/>

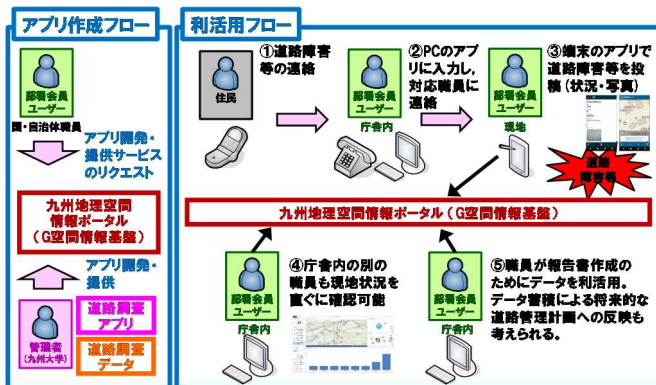
概念図



ポータルの構築・運営主体を学としており、G 空間情報の流通・利活用について学が官を支援するサービスを提供している。G 空間情報センターのデータや国土地理院の地理院タイルも活用している。ユーザーニーズにより、ポータルと連携する G 空間情報収集システム、オフラインアプリも提供している。

利活用事例

【平常時】道路維持管理用 苦情要望処理システム



【災害時】平成 29 年 7 月九州北部豪雨の災害対応



G 空間情報の利活用で自治体業務の高度化が可能に！
(連携先：福岡県久留米県土整備事務所，福岡県県土整備部企画課)

G 空間情報としての災害情報の集約・提供で
迅速な応急・復旧が可能に！